

2020/11/02 (月)

朝の礼拝

聖書 コヘレトの言葉 3章11節 (新約聖書1037頁)

神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお、神のなさる業を始めから終わりまで見極めることは許されていない。

“今”を大切に

私たちは数日後、一週間後、一ヶ月後、そして一年後の予定を考えて生活しています。でもすべてが予定通りになりません。突然なことや偶然が重なり、不思議な、思いも寄らないことが起きます

例えばパンデミックが起き、東京オリンピックが延期になると誰も予想できませんでした。まさかという思いの中に、人間は無意識に時間をコントロールできると考えているのかもしれませんが。

「永遠」と訳されている言葉の語源には「隠す」という意味があります。未来に起きることだけでなく、過去に起きたことの意味も、私たちは知り尽くすことはできません。

「神はすべてを時期にかなうように造り」とあるのは「美しい」や「美しい」とも訳されています。どんな時期かわからなくてもいい。“今”を大切にして、神様と共に過ごしなさいと呼びかけています。

(しばらく黙祷しましょう)

祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。今朝、私たちは「あなたがなさることは時にかなって麗しく、美しい」と励まされました。どうか今日も安全で健康な学校生活を守り、祝福に満ちた文化祭、英和祭を迎えることができますようにお導き下さい。今日一日もすべてをあなたに委ね、互いに励まし歩ませて下さい。主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン